



『廃棄物の不法投棄情報の提供に関する協定書』締結

7月17日(火)、増加する廃棄物の不法投棄に対する監視体制の強化を図るため、市と市内の3郵便局、市内をエリアとするハイヤー会社(営業所)との間で、『廃棄物の不法投棄情報の提供に関する協定書』が締結・調印されました。

この協定は、郵便配達や集配業務で地域を熟知している登別・登別駅前・登別温泉の3郵便局の局員と、登別・若草・登別温泉の3営業所を所管する室蘭ハイヤー登別地区担当のタクシー運転手の方が、廃棄物の不法投棄を発見した際、市に通報してもらうというもの。

家電リサイクル法がスタートした4月から6月末までの3カ月間で廃棄物の不法投棄は既に29件を数え、今後も更に増加すると予想されており、今、市民や業者のモラルが問われています。不法投棄を発見した際は、環境資源課(クリンクルセンター内 ☎ 2958)までご連絡ください。



官民一体で監視強化

夏休みを利用してボランティア ～ボランティア体験月間2001～

市社会福祉協議会と市ボランティアセンター主催による『ボランティア体験月間2001』が8月1日(水)から1カ月間の予定で始まりました。

この体験月間は、夏休みなどで多くの方が参加しやすい8月に行われているもので、7歳から78歳まで延べ504の方が参加し、35種類の体験プログラムの中から自分に合ったボランティアを体験しました。

富岸児童クラブで、日中保護者がいない子どもたちとの遊びを体験した高橋寿治さんは、「大学の夏休みを利用して参加しています。点字や朗読ボランティアを体験しました。これからホームヘルプサービスや盲導犬とのふれあいも楽しみたいです」と話していました。



▲富岸児童クラブでボランティア体験をした高橋さん

男は仕事、女は家庭？

～はあもにいフェスタ'01～

はあもにいフェスタ'01実行委員会主催による『男女共同参画講演会』が7月20日(金)、市民会館中ホールで開催され、静岡県教育委員会生涯学習企画課指導主事・奥山和弘(おくやまわかつひろ)さんを講師に招き、『どきどきジェンダーランドの探検』と題した講演とグループディスカッションが行われました。

講演では、「女性や男性はこうあるべき」という性差(ジェンダー)的な内容の漫画を題材に「性別ではなく個性。性差にとらわれない生き方を」とユーモアを交えた講師の話に、参加した60人から笑い声が飛び交う場面もあり、楽しみながら聞いていました。



多彩なイベントで探険気分

～2001のぼりべつ探険物語～

7月21日(土)と22日(日)の2日間、登別まちづくり促進期成会が主催する『2001のぼりべつ探険物語』が、登別東町の登別マリンパークニクス前庭やメルヘンストリートなどを会場に開かれました。

この『2001のぼりべつ探険物語』は、昨年まで10年にわたり開催された『フラワーパレットのぼりべつ』を継承するイベント。会場では『探険』をテーマに、クイズに答えながらゴールを目指す『探険アンケートラリー』や、小・中学生の絵や川柳短歌などを展示する『のぼりべつ未来展』、『熱気球』、『ヘリコプター遊覧』など多彩なイベントが繰り広げられ、訪れた家族連れなどは、探険気分イベント会場を回っていました。



▲オープニングで披露された、登別中学校吹奏楽部の演奏